

【今週号の主な内容】

■ 《先週・今週の報道発表》

今週の報道発表は特にございませぬ。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 平成28年度総会のご報告
2. 汚染土壌事業化PT WG1 開催のお知らせ

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 港湾協会、松山市において第89回定時総会開催
2. 運輸技術開発推進制度で「高圧脱水固化処理工法の開発」
3. 中部地整が名古屋港新処分場で検討書のパブコメ開始

-----  
《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 平成28年度総会のご報告

6月6日（月）、第一ホテル東京シーフォートにおきまして、平成28年度総会を開催し、会員総数172団体の過半数の賛同を得て、すべて議案が滞りなく可決されました。

総会開催にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご指導・ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

（ミニセミナー参加者数：75名、総会参加者数：91名、交流会参加者数：66名（事務局を除く））

2. 汚染土壌事業化PT WG1の開催について

下記日時にて開催致します。

日時：平成28年6月21日（火）13:30～14:30

場所：みなと総研 3階 会議室

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 港湾協会、松山市において第89回定時総会開催

日本港湾協会は5月26日、愛媛県松山市において第89回定時総会を開催した。宗岡港湾協会会長が、「選択と集中の考えのもと、インフラのストック効果にも着目した取組が重要」などと開会挨拶した。

来賓では望月義夫自民党港湾議員連盟会長が「安倍総理が謳っている地方の再生は各地域の港が発展しなければ成功しない」と述べると共に、熊本地震における港湾が果たした役割も踏まえ、「災害時における港湾の有効性・重要性を改めて感じた」と述べ、港湾施設の耐震化等に十分な予算を配分することが必要との考えを示した。【港湾空港タイムス】

-----

2. 運輸技術開発推進制度で「高圧脱水固化処理工法の開発」

国土交通省は5月31日、『交通運輸技術開発推進制度』の新規研究課題として3件を採択した。港湾関係では「コンテナ船の大型化に向けた高圧脱水固化処理工法の開発」が選ばれた。同研究の実施者は九州大学・五洋建設・港空研。

研究内容は浚渫土砂の処分場確保が困難になっている実態を踏まえ、減容化しつつ有害物質を吸着固定化、更にコンクリートに匹敵する材料特性を持ったブロックに再生する。【港湾空港タイムス】

-----  
**3. 中部地整が名古屋港新処分場で検討書のパブコメ開始**

国土交通省中部地方整備局は、5月27日から環境影響評価法第3条の3第1項に基づき作成した「名古屋港で発生する浚渫土砂の新たな処分場計画」の環境影響に関する検討書を、愛知県及び常滑市に送付し意見聴取を行うとともにホームページに掲載、環境保全の見地からの一般の意見募集を開始した。意見提出期限は6月27日。

対象事業の埋立区域面積は約250haから350ha、など。【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####